

発行所

静岡県高等学校障害児学校教職員組合  
静岡市葵区駿府町1-12  
高教組新聞編集委員会  
http://www2.tokai.or.jp/s-koukyouso/  
e-Mail s-koukyouso@ny.tokai.or.jp  
TEL (054) 254-6900  
FAX (054) 254-0814

第355号

2011年

4月20日

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、全教職員に配布しています

Let's くみあい

震災救援募金にご協力下さい

4/12現在 520,822円



# 東日本大震災の復興支援に全力を

## — 県評・静岡地区労連が街頭募金活動 —

### 被災者救援を最優先で 三日間で54万円余のカンパ

東日本大震災から三日 関東で発生した広域の海目となる3月14日(月) 底プレートによって引き起こされた今回の地震は、岡県評(高教組加盟)、静岡地区労連は、静岡市のまったく同じ原理で発生する可能性がある。決して他人事ではない」と訴え、市民に募金への協力を呼びかけました。

募金活動にはのべ約100名が参加し、三日間で54万3106円の募金が寄せられました。飛び入りで活動に参加する人があり、若い人たちの協力も目立ちました。地震に対する県民の関心の高さと心配の大きさを表したのとなりしました。



募金や浜岡原発即時停止を求める署名に応じる若者

### 「安全神話」の崩壊 原発政策の見直しを

福島第一原発での重大事故の様子が徐々に明らかになってくる中で、急きょ、「浜岡原発即時停止」

を求め署名も、街を行く人たちが次々と署名していきました。

現在の危機回避に全力

をあげるとともに、「安全神話」と決別し、全国の原発の総点検、原子力から自然エネルギーへの政策転換を検討する必要があります。「想定外」という言い訳は許されません。

う言い訳は許されません。

### よろしくお願ひします 今年度の高教組執行部です

「一人はみんなのために、みんなは一人のために」をモットーに教職員の勤務条件や教育予算増額、教育条件整備のとりくみをすすめていきます。共済や保険など厚生事業にも力を入れています。以下の新執行部、書記局体制でがんばります。職場の皆さんのご理解、ご協力をお願いいたします。



- 右から  
平島特別執行委員  
西谷書記  
岩立書記  
鈴木書記  
杉山書記  
山田書記  
深田書記長  
絹村副委員長  
木藤委員長  
橋本執行委員  
進士執行委員  
安達副委員長  
他に  
坂口執行委員  
長谷川障害児学校部長

### 一人ひとりの 子どもを大切に 教育に向け 共に頑張りましょう

4月1日、県立学校教職員の辞令伝達式が、静岡県男女共同参画センターあざれあで行われました。高教組は青年部・静岡地区など8名で、新規採用者に対して、組合や保険の案内セットを配布しながら、静岡県の教育のために共に頑張ろうと全員を激励しました。

今年度は、昨年並みの255人が採用されました。宣伝の中で、講師時代の顔見知りの方や元教員などとも再会できたのはうれしい出来事でした。

### 辞令伝達式の会場前で宣伝



### 視座

あの震災後、生徒会本部の生徒たちが動き始めました。校内で募金を呼びかけ、早朝、駅前立ち、放課後、スパーの前に立ち、そのうち、有志の生徒たちも加わったんです。町の人が、とてもやさしくなったことも感じました。寒い日には、お金とも温かい缶ジュースをくれた方や、中には万札を募金箱に入れた方も。わずか3日の活動でしたが、けた違いの額が集まりました。▲生徒たちは、本気で、他人のことを考えるようになったようです。「今の自分たちが他人のために何ができるか」などが、教室や廊下でのさりげない会話の中で聞かれるようになってきました。▲無駄を省いて、省いて、その後に見えてくるものこそ、本当に大事なものです。すべてを失い、体育館で暮らす方々のことを思えば、我々がいかになくても困らないモノに囲まれ、そんなモノに振り回されているかも見えてきます。▲最悪のこの惨事、生徒たちは、最高の学びの機会としつつあるようです。▲今、その生徒会本部の生徒たちは、「私たちに何ができるか」や「原子力発電」を特集した新聞づくりを始めたばかり。▲「私たちは、微力だが、無力ではない」ことを信じていると思います。

# 相談件数は減少

## — 高校入試110番に13件の相談 —



相談を受ける中川前副委員長

今年も合否判定に納得できないという相談が複数ありました。「内申点が高いのになぜ落ちたのか」という疑問と開示請求の方法を個々に説明しました。中学がつける内申点について、

### 合否判定に疑問

高教組は全教静岡と協力し、今年も合格発表の翌日(3月16日)に第9回「高校入試110番」を実施しました。今回は13件の相談が寄せられました。高教組はこの相談内容をもとに、高校入試制度の改善を求め、県教委と交渉していきます。

静岡県では、再募集を受ける場合、合格している私学の入学を辞退してから受ける「慣行」があります。「学校経営上」「滑り止めは一回だけ」などの理由が考えられますが、社会情勢により公立志向が増えるなか、見直し、改善を求める声が寄せられています。再募集をあきらめている生徒も

今年度最も多かったのは公立高校の再募集に関するもので、5件ありました。一昨年も不況の影響で、「私学でなく公立へ」と、再募集への相談が多数を占めました。

### 「再募集」受検に私学辞退の壁

「観念別評価のため、客観的な判定資料になっていない」とか、「中学により差がある」等の不信の声が今年も寄せられました。

## 第49回 2011年 静岡県母親大会

とき 2011年5月15日(日) 10時~16時  
ところ 静岡県立磐田農業高等学校

- ◆記念講演 森住 卓さん (フォトジャーナリスト) 「核にむしばまれる地球」
- ◆分科会 10時~12時
- ◆全体会 13時30分~16時
- ◆参加費 1,000円

連絡先: 420-0823 静岡市葵区春日2-9-1 TEL&FAX 054-253-6081



## 労働基本権学習会

とき 5月21日(土) 13時より受付 13時30分 開会  
ところ 静岡市民文化会館 2F 101会議室  
＜講師＞全教生権局 中執 米田 雅幸氏



教育長(右端)と懇談する 木藤委員長(左端)

## 年度初めにあって 教育長と懇談

4月13日(水)に、新三役(木藤委員長・安達、絹村両副委員長・深田書記長)は年度初めのあいさつを兼ね安倍教育長を表敬し、懇談しました。東日本大震災に関する意見交換が主になりました。4月末には正式意見交換書に基づき教育長交渉が行われます。

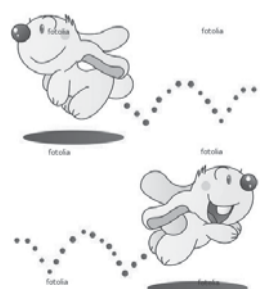
4月13日(水)に、新の拠点としての学校の役割などについて言及し、必要があれば見直しも検討したいと述べました。教育予算増額、臨時教職員の勤務条件についても意見交換し、要望を伝えました。4月末には正式意見交換書に基づき教育長交渉が行われます。

## 二系統の福利厚生制度

静岡高教組では、二系統の福利厚生制度を有しています。四十年前以上に「安田グループ保険」として発足し、「高教組厚生会」として継続してきた団体生命保険中心の系統と、二十年前に「全教」(幼稚園から大学までの教職員で構成される全国組織)の結成にあわせて誕生した「全教共済」の系統です。

近代イギリスの工場労働者たちが、自分たちの身を守るために作った「組合」と「共済」という仕組みは、お互いに支え合って生きる私たちにも大いに役立つものです。ぜひ、みなさんにも活用して戴きたいですね。

2011年度の会員は、1,500名となりました。



あいびいグループ保険のご愛顧ありがとうございます！

### 県立学校厚生会として再スタートしました

いつでも加入できます。個人保険でも団体扱いにすれば、月々の保険料が安くなります。

厚生会が取り扱っている生命保険会社は、明治安田、三井、住友、富国、アフラックの5社です。

こんにちは 全教共済しずおか です。

つい先日、富士宮地域を中心に大きな地震がありました。大丈夫でしたか。

小さな被害でも遠慮なく、お問い合わせください。火災共済だけでなく、総合共済からも給付されることがありますよ。地震に限らず、みなさんの生活を守るための「全教共済」です。